

令和2年度
事業報告書

社会福祉法人 茂原高師保育園
たかし保育園市川二俣

令和2年度 事業報告書

たかし保育園市川二俣

1、管理業務の実施状況

①事業内容

開園時間	月～金	7:00～20:00	
	土	7:00～19:00	
		保育標準時間	保育短時間
保育時間	月～土	7:00～18:00	8:30～16:30
延長保育	月～金	18:01～20:00	7:00～8:29 16:31～20:00
	土	18:01～19:00	7:00～8:29 16:31～19:00

②クラス編成

定員40名（運営定員35名）

	クラス名	定員	令和2年 4月	令和3年 3月
0歳	めばえ	4	3	4
1歳		6	6	5
2歳	ふたば	6	6	5
3歳	みのり(3.4.5歳児 異年齢保育)	8	8	8
4歳		8	8	7
5歳		8	3	3
合計		40	34	32

③職員体制

園長	1名	加賀林
主任保育士	1名	根本
保育士	9名	日向野、山川、中田、橋本、神田、斉藤、鳴川、石井、杉下
栄養士	2名	大橋、竹内

2、年間行事実施状況

2020年4月	入園おめでとう会 慣らし保育
5月	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休園 特別保育のみ実施
6月	蟻虫卵検査 歯科検診 尿検査（3～5歳児） 総合避難訓練 異年齢交流（なかよしの日）
7月	内科健診 七夕の集い 水遊び 防犯訓練
8月	夏祭り すいか割り 水遊び
9月	引き渡し訓練
10月	運動会（3～5歳児） 遠足（3～5歳児）
11月	内科健診 個人面談（5歳児・0～4歳児希望者）
12月	歯科検診 お楽しみ会
2021年1月	初釜（3～5歳児） おおきくなったね会（3～5歳児）
2月	節分の集い カレーパーティー（3～5歳児） 歯の大切さを知る（3～5歳児）
3月	ひなまつり 活け花（3～5歳児） 卒園式 修了式 異年齢交流（なかよしの日） お別れ親子遠足（3～5歳児）
毎月実施	避難訓練 身体測定 誕生会（3～5歳児）*0～2歳児は個別実施 クッキング（3～5歳児） さわってみよう（0～2歳児）
その他	実習生受け入れ

3、研修実績

①内部研修

- ・アレルギー対応について
- ・事例課題を通して
- ・全体的な計画を考える
- ・不審者対応について
- ・わらべうたを学ぶ
- ・救急救命を学ぶ
- ・防災・災害マニュアルを読み解く
- ・散歩マップづくり
- ・嘔吐物・感染症の対応について
- ・写真を活用し、こどもの見方を広げる
- ・気になる子についての配慮の仕方を学ぶ
- ・新型コロナウイルス感染症発生時の基本的な対応について

②外部研修

- ・全職員が交代で参加（オンライン研修を含む）
- ・キャリアアップ研修

4、運営費執行状況（決算書）

別紙「決算書 令和2年度（自）令和2年4月1日～（至）令和3年3月31日」参照

5、評価及び反省

(1) 児童処遇について

今年度は、当初新型コロナウイルス感染症の影響で自粛及び臨時休園となりました。その期間中も、登園してくるこどもが安心・安全に過ごせるよう、感染拡大防止対策を徹底しながら保育を行い、解除後は、毎日安定したリズムで主体的な生活ができるように、環境構成を考えながら一人ひとりのこどもの発達に合わせた保育者の関わり方や声掛けを工夫していきました。

0～2歳児は、食事を中心に担当制とし、こどもとの信頼関係を深めながら基本的な生活習慣を丁寧に伝えていくことで、身の回りの事を自ら行う姿に繋げていくことができました。遊びでは、五感を使って遊べるよう配慮し、その楽しさをこども同士や保育者と共有できる経験を通して、人との関わり方や意欲を育んできました。3～5歳児は、一人ひとりのペース、年齢に応じた活動を大切にしながら、季節の行事や日々の生活の中で自分で考え、行動できるよう配慮していくことで、こどもの自信に繋げていくことができました。そして共に育ち合う中で、お互いを思いやりながら刺激し合える関係性を築いていくことができました。

引き続き、こども達が安心できる環境の中で主体的に遊び、経験し、意欲を育んでいけるような保育を実践していきたいと思えます。

(2) 全般について

休園期間中の自宅待機を利用し、「事例課題を通して自分の保育を振り返る」「全体的な計画を見直し、園の状況に合わせたものにしていく」という課題について自ら調べ、考え、今後活かしていけるよう全職員で確認し合いました。また、今年度は経験年数のある職員が増えたこともあり、園内研修および日々の話し合いを重ねて保育の質をより高めていくことができました。

園の前は交通量が多く、園庭がないことも伴って戸外活動における安全面を常に重視しています。加えて戸外活動を充実させるため、職員全員で新しい安全な散歩コースを開拓する等意識の統一を図ることにより、この一年大きな事故なく過ごすことが出来ました。引き続き、様々な事由を想定し、安全に対する意識を高く持ちながら保育を行って参ります。

保護者には、日々の生活、保育の面、行事、感染拡大防止対策に関して多大なるご協力を頂く一年でしたが、メール配信や手紙の配布、掲示などでこまめに状況を伝えることによりご理解を得ることができました。未だ予断を許さない状況ですので、今後もご意見を頂きながら改善できるところは取り入れてご協力頂けるよう努めてまいります。

地域交流としては、まだまだ開拓の余地があるところですが、災害時において助け合えるような関係性を構築することができましたので、今後も深めていきたいと思えます。

令和3年度も、こども一人ひとりの発達に合わせたこどものための保育園を目指し、職員のチーム力を高めて保育の質を向上できるように努めてまいります。